



日本赤十字社活動資金へのご協力をお願いします。

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



日本赤十字社の活動資金へのご協力をお願いします。

日本赤十字社愛知県支部の主な事業について

1 災害救護活動



いつ、どこで発生するか予測ができない自然災害や人為災害。迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定 の救護訓練を重ねています。また県内各地に、災害時に必要な資機材の配備、救援物資の備蓄をしています。

2 救急法などの講習



緊急時の手当や事故防止に必要な知識、技術を学ぶ4つの講習会を県内各地で開催しています。学校、PTA、会社、町内会や自主防災組織など団体からのご依頼に合わせた講習にボランティアの指導員などを派遣しています。また、オンライン環境を活用した講習も開催し、継続的な普及を行います。

3 国際活動



世界の191の国と地域に世界的ネットワークをもつ人道支援機関として、災害や病気で苦しんでいる人を救うため、救援活動や保健衛生環境の改善を行っています。また、現地で活動できるように「国際救援・開発協力要員」となる人材を育成しています。

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、県内1090以上の青少年赤十字加盟校で、いのちの大切さや人のために自ら考えて行動できる子どもたちを育成しています。



5 赤十字ボランティア

赤十字の活動は多くのボランティアに支えられています。地域に根差した活動を行う「地域赤十字奉仕団」特技を生かした「特殊赤十字奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」が活躍しています。



6 医療事業

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院(中村日赤)・第二病院(八事日赤)では、地域の中核的な病院の役割を果たすほか、国内外の災害時には医師や看護師を派遣しています。



その他の事業のご紹介は裏面につづきます

日本赤十字社愛知県支部の主な事業について

7 血液事業

愛知県赤十字血液センターでは、病気やけがで輸血を必要とする方々のため、広く献血についての理解を求め、多くの方のご協力をお願いし、安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。



8 看護師養成

日本赤十字豊田看護大学では、赤十字の国内外の救護活動をはじめとして、最先端の看護知識・技術を身に付け広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。



9 社会福祉

各地域における課題を把握し、行政、企業、他団体と連携し各地域で必要とされている社会活動を展開します。また、地域の保健衛生向上に寄与するために、赤十字健康教室を行っています。



地域で必要とされる社会活動の展開



子どもと子育て世代の支援

赤十字ボランティアによる子ども食堂や、子どもに起こりやすい事故の予防や、事故に対する手当の方法を学ぶ講習の普及など、子どもたちの育成を地域で支援します。



多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を普及するほか、地域における多文化共生の取り組みを、関係機関と連携をとりながら実施してまいります。



高齢者健康生活支援

高齢者の孤立を防ぎ、健康増進に資する環境づくりのため、企業等と連携した外出・移動支援や健康チェックの実施など、社会参加を促す支援を行っています。



災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・生徒に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。

ごあいさつ

日頃は、赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年1月に発生した能登半島地震では、医療救護班の派遣や、毛布などの救援物資の配布など総力をあげて支援にあたってまいりました。また、お寄せいただいた災害義援金は、被災された方々の生活支援のため、全額を被災県の義援金配分委員会に送金しております。

昨年は、例年にない記録的な大雨を観測する中、救援物資の配布を行うとともに、水害を想定した訓練や県内各地への資機材の整備し、防災セミナーを通じた大規模災害への対応能力や地域の防災力向上に努めております。

また、海外では、各地で大規模災害や紛争による人道危機が発生する中、これらの災害・紛争に対する海外救援金を募集し、県内赤十字施設から現地に職員を派遣する等、支援してきたところです。

こうした活動は、皆さまからの継続的な活動資金のご協力により支えられております。今後も一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社愛知県支部 支部長 **大村秀孝**

▶ 令和6年度予算概要 令和6年度における日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出予算の概要をご報告します。

歳入		
内 訳	予算額	
社資収入	1,092,000,000 円	86.9%
委託金・補助金及び交付金収入	6,823,000 円	0.5%
資産収入・雑収入	26,193,000 円	2.1%
前年度繰越金	132,343,000 円	10.5%
合計	1,257,359,000 円	100.0%

歳出		
内 訳	予算額	
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	395,321,000 円	31.4%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	49,935,000 円	4.0%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	52,550,000 円	4.2%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	53,435,000 円	4.3%
⑤ 社会福祉事業などに	21,545,000 円	1.7%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,389,000 円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,684,000 円	0.8%
⑧ 活動資金募集のために	82,441,000 円	6.6%
⑨ 赤十字の普及・広報活動のために	41,856,000 円	3.3%
⑩ 赤十字病院救急医療体制の整備に	143,413,000 円	11.4%
⑪ 市町村における赤十字活動に	121,400,000 円	9.7%
⑫ 全国的な赤十字活動に	121,050,000 円	9.6%
⑬ 支部の運営に	158,340,000 円	12.6%
合計	1,257,359,000 円	100.0%



※使途が指定された活動資金による事業を含みます。

お寄せいただく資金で上記のような活動を予定しています。

税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取り扱い

日本赤十字社(本社及び都道府県支部)は、会費(社費)、寄付金(「海外たすけあい」を含む)、海外救援金、国内災害義援金へのご協力を際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。

